



スタートアップ対象のM&Aセミナー、日本公庫が開催



M&Aセミナーのお知らせ

日本政策金融公庫は4月17日、創業間もないスタートアップ企業を対象とする「『攻めと守り』に使えるM&Aセミナー」（共催ストライク）を都内で開く。スタートアップ企業の出口（イグジット）戦略として近年、IPO（新規株式公開）と並んでクローズアップされるM&Aの活用について専門家やベンチャー企業経営者が事例を踏まえて解説する。

セミナーでは第一部で荒井邦彦・ストライク社長が「事例で学ぶ！成功するM&Aのポイントとは？」、第二部で柴田泰成・ソラシードスタートアップスタジオ代表が「経験者が答える！スタートアップのM&Aに関するディスカッション」と題し、講師を務める。

柴田氏は起業家とベンチャー投資家の二つの顔を持ち、ファンドを運営しながら、自ら立ち上げた会社を朝日新聞社に売却した実績を持つ。

受講対象は創業5年未満の企業の経営者や経営幹部らで、定員20人。参加無料。開催時間は13時半～15時50分（13時受付開始）、会場はAP渋谷道玄坂渋東シネタワー11階会議室（渋谷区道玄坂）。

申し込みや詳しい内容はこちらから。

<https://www.strike.co.jp/>